

●1999年11月25日

生化学工業株式会社とグライコデザイン社が抗炎症剤の共同研究契約を締結

生化学工業とグライコデザイン社(カナダ、トロント)は、後者が主体として実施する炎症性疾患治療を目的とするCore2糖転移酵素阻害剤の探索共同研究契約を1999年11月に締結いたしました。

Core2糖転移酵素は、炎症性疾患発現のメカニズムに深く関与するシアリルルイスX(sLex)を構成する糖鎖を生合成するのに重要な役割を担う物質です。この酵素により生合成されたsLexは、白血球を傷害組織表面へ集積させ、集積した白血球の傷害組織への進入によって、最終的に炎症が起こることが解明されています。従来の糖に関連する抗炎症化合物開発では、集積時に白血球の受け手となる糖鎖を直接ブロックする方法が探索されていますが、本契約における開発は従来とは異なり、Core2糖転移酵素阻害剤によりsLex自体の生合成を長期的に抑制し炎症の進行を抑えるという手法です。今後、両社でこのCore2糖転移酵素阻害剤の探索研究を進めることとなります。

炎症性疾患を持つ患者数は年々増えており、世界で慢性関節リウマチ患者は700万人、喘息患者は3,400万人にのぼると言われています。現在の抗炎症剤はその有効性が限られていることから、より高効率の抗炎症治療剤の開発が待たれています。

本契約により生化学工業は、当面3年間の探索研究で見いだされた抗炎症作用を示す、最大3化合物につき、独占的に開発する権利および全世界独占の事業化オプション権(再実施権許諾権付き)を取得することとなります。

グライコデザイン社はカナダのベンチャー企業として1993年に設立され、低分子で経口投与が可能な活性のある糖鎖生合成阻害剤(癌、感染症、炎症、循環器系疾患の治療剤)の探索から臨床試験の初期段階までの開発を行う企業です。現在までも多くの自社製造の化合物ライブラリーを有しており、グライコバイオロジー(*)の世界的リーダーの一つとして認知されています。

このCore2糖転移酵素阻害剤の探索共同研究契約は、慢性炎症に対する糖鎖合成阻害に専門性が深く、かつ新規の開発方針を持つグライコデザイン社と、複合糖質分野に特化した研究開発を進める生化学工業との、両社の資質が結集し、これまでにはない数種の炎症疾患に対する新しい治療法の開発に繋がるものと期待されます。

* グライコバイオロジー：糖を含む分子の生体内での役割を研究する学問。生物学的活動のほとんどに糖を含む分子が重要な役割を担っており、医薬品の研究開発においても、グライコバイオロジーは新しい成長分野として注目されてきています。

GLYCO Design Inc.

社長兼CEO: Jeremy Carver

所在地: 480 University Ave. Suite 900 Toronto, Ontario M5G 1 V2